

電子くじについて

京都府電子入札システムに組み込まれた「電子くじシステム」は、次のような手順で落札者を決定します。

手順	利用方法
〔くじ入力番号〕の入力	入札書画面の「5. くじ入力番号」欄に、任意の3桁の数字を入力します。(必須入力)
〔くじ番号〕の決定	電子くじシステムで発生させる3桁の乱数を、「くじ入力番号」に加算し、加算した数字の下3桁を〔くじ番号〕とします。〔くじ番号〕は、入札書提出確認画面で、「027(くじ入力番号001と乱数値026の合計値の下3桁)」と表示され、確認することができます。(ここで「戻る」を押下すると、〔くじ番号〕を変更することもできます。)
〔くじ番号〕の提出	入札書の提出により、〔くじ番号〕が提出されます。
入札書到着時刻の記録	システムで入札書のサーバ到着時刻を、自動的に記録します。ただし、紙入札業者の入札書到着時刻は、開封した順番に発注者が紙入札書の内容をシステムへ登録した時刻となります。なお、発注者へ入札書を提出した時刻ではありませんので、ご注意ください。同札者の順位付け開札の結果、価格競争において最低入札価格が複数の場合(総合評価においては最高評価値が複数の場合)、入札書到着順に0、1、2・・・と同札者に順番を付けます。
落札候補者の判定	次の数式で得られた「余り」の数字に一致する順番の者が、落札候補者となります。3桁の〔くじ番号〕(くじ入力番号+乱数)の合計÷同札者数

《計算例》

	ケース1			ケース2		
	A社	B社	C社	D社	E社	F社
くじ入力番号	001	001	001	111	222	333
乱数	026	266	771	600	489	192
〔くじ番号〕	027	267	772	711	711	525
入札書到達時刻	H22.1.11 12:00	H22.1.11 13:00	H22.1.11 14:00	H22.1.11 12:00	H22.1.11 12:30	H22.1.11 13:05
サーバ到達順位	0	1	2	0	1	2
落札候補者の判定	(027+267+772)÷3=355 余り 1			(711+711+525)÷3=649 余り 0		
落札候補者の番号	1			0		
落札候補者名	B社			D社		

ケース1の場合、当選番号=1となり、到着の番号=1である応札者B社が落札者となります。偶然、〔くじ番号〕が同一となったケース2の場合でも、ケース1と同様の計算方法により、当選番号=0となり、到着の番号=0である応札者D社が落札者となります。

- ・開札までは、入札金額(評価値)と同様に、くじ番号も入札参加者数もわかりません。
- ・くじ入力番号は、入札参加者が自由に入力できるので、恣意的でない、公平な、くじ引きが可能となります。